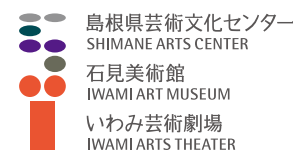


Grand Toit News

Grant News

vol. 73
Spring 2023



企画展紹介
「暮らしを彩るフィンランドデザイン」
劇場事業紹介
「2023年度、
いわみ芸術劇場の今後の取り組み」

- 特集 「劇場ホール・再開」 & 「『シマチケ』取り扱い開始」
- 「Grant Newsのおすすめ」
いわみ芸術劇場ホール再開記念
森山直太郎 20th アニバーサリーツアー開催！

ゴールデンウィークも
全日開館！



図1
《アアルト・ベース》
アルヴァ・アアルト、1936-1937年
©Design Museum Finland,
Photo: Johnny Korkman



図2 Photo: Anton Sucksdorff



図3
アアルト・ベースの木型
ガラスの吹き手、職人のベンチ
©iittala



図4
オイバトイッカによる
《バード バイトイッカ》コレクション
©littala

まずはイッタラについて教えて
いただけますか？

イッタラは、フィンランドを代表するライフスタイルブランドの一つです。ガラスの食器や、花瓶や置き物などのインテリア製品で知られていて、日本でも高い人気を誇っています。1881年にフィンランド南部のイッタラ村に設立されたガラス工場からはじまり、伝統の職人技を継承しつつ、アルヴァ・アアルトやカイ・フランクらフィンランドデザインの発展を牽引した建築家やデザイナーとともに歩んできました。2021年には創立140年を迎え、フィンランド・デザイン・ミュージアムで大規模な展覧会が開催されました。

19世紀から続くブランドなのですね。代表作にはどんなものがありますか？

色々とありますが、例えばユ

暮らしを彩る フィンランドデザイン

企画展「イッタラ展 フィンランド・ガラスのきらめき」について、担当学芸員の廣田理紗さんにききました。
iittala - Stars of Finnish Glass

ニークな形の花器「アアルト・ベース」(図1)や、豊富なカラーバリエーションが楽しい「カルティオ」(図2)などは、目にしたことのある人や、実際に使っているよ、という方も少なくないと思います。これらも時代と共に、実は少しずつ変遷していて、展示ではその辺りも見ていただけます。この展覧会は2021年にフィンランドで開催された展覧会に、イッ

タラと日本との関わりを見られるセクションを追加して作られた特別なもので、イッタラが大好きで詳しい方も、イッタラの名前も知らなかったよ、という方も、皆さんに興味深くご覧いただける内容になっています。

いいですね！展示の構成や見所を教えてください。
はい。展覧会は大きく4章に分かれています。第1章ではイッタラ140年の歴史を、年表とその時代を代表する作品で見通します。第2章ではイッタラで仕事をした代表的なデザイナーたちに注目し、彼らのクリエイションに迫ります。続く第3章では、素材としてのガラス、自然と精霊との対話、戦後フィンランドの外交とデザイン、など「イッタラを紐解く13の視点」を通し

分かれていきます。第1章ではイッタラ140年の歴史を、年表とその時代を代表する作品で見通します。第2章ではイッタラで仕事をした代表的なデザイナーたちに注目し、彼らのクリエイションに迫ります。続く第3章では、素材としてのガラス、自然と精霊との対話、戦後フィンランドの外交とデザイン、など「イッタラを紐解く13の視点」を通し

てイッタラの芸術哲学を掘り下げます。そして最後となる第4章では、イッタラと日本、と題して日本の工芸やデザインに触発されて作られた作品や、日本でのイッタラの需要史、そしてミナ・ペルホネンやイッセイ・ミヤケといった日本のブランドとのコラボレーションなどを紹介します。盛りだくさんな内容で、見どころを一つに絞ることは難しいのですが、個人的には、デザイナーの発想を職人たちが熟練の技術で形にしてゆく様子を捉えた映像や、制作の痕跡が鮮やかな木型(ガラスを流し込む、図3)は、見応えがあり、ぜひ注目してほしいところ。また、愛らしい鳥の姿をした人気の作品「バード」も多数やってきます(図4)。ぜひこの機会にイッタラの魅力に触れていただきたいです。

廣田さん、ありがとうございました。



Photo: Anton Sucksdorff

イッタラ展 Stars of Finnish Glass フィンランドガラスのきらめき

2023.4.22(土) - 6.19(月) 島根県立石見美術館
(島根県芸術文化センター「Grant News」内)

開館時間 9:30 - 18:00(展示室への入場は17:30まで) 休館日 毎週火曜日(5月2日は開館)

関連プログラム

Grant News・マルシェ 2023

「フィンランドの食・文化・エコ」をテーマに開催する全館あがりの楽しいイベント。イッタラの生まれた国の文化を色々な角度から体験してみよう！

日時：5月3日(水・祝) 10:00 - 15:00 会場：Grant News中庭広場、ほか

*Pick up event 参照。

ギャラリートーク

担当学芸員が展覧会の見どころを解説します。

日時：4月22日(土)、5月3日(水・祝)、28日(日)、6月18日(日) いずれも14:00～ 集合：展示室D入り口前

観覧料 当日券 一般1,000(800)円 大学生600(450)円 小中高生300(250)円 *()内は20名以上の団体料金 *小中高生の学校利用は入場無料 *各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者は1名まで入場無料 *前売券は、ローソン各店(Lコード63690)、Grant News総合案内カウンターでお求めになれます。

主催：島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、フィンランド・デザイン・ミュージアム、朝日新聞社、日本海テレビ 特別協力：littala 協力：NPO法人出雲フィンランド協会、おおなんフィンランド協会 後援：フィンランド大使館、芸術文化とふれあう協議会

子どもWEEK!
4月29日(土) - 5月11日(木)

左記の期間、小・中学生は観覧無料。
家族みんなで展覧会を楽しもう！

*年齢の確認できるものを持参ください。

◎ご来館の前には、
当館ホームページにて
最新の情報をご確認ください。

展覧会特設サイトはこちら→





ロバの音楽座/わいてくるくるおんがっかい2021

2023年度、 いわみ芸術劇場の 今後の取り組み

2021年11月からの約1年6ヵ月、耐震改修工事のため休館していた大ホール・小ホールが、いよいよ2023年5月に再開します。今後も多様で質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供を通じて、地域の皆さまにとって暮らしの安らぎと、活力となるような鑑賞事業をお届けしていきます。

「2023年度鑑賞事業の特徴について」

いよいよ今年5月に再開する大・小ホールでは、「いわみ芸術劇場ホール再開記念事業」として森山直太朗コンサート「素晴らしい世界」からスタートします。2023年度の大小ホール実施事業の特徴としては、子どもから大人までが楽しめる鑑賞事業や演劇、オーケストラから古典芸能まで幅広い世代の方に足を運んでいただける事業を計画しています。また、劇場がより町に開かれた場となるよう、地域

の実演団体等と連携をして行う鑑賞公演や創造舞台にも取り組んでいきたいと考えています。今後も文化芸術を通じて、世代や地域を問わずに感動と刺激を皆さまへ提供できるよう取り組んでいきますのでどうぞご期待ください。

「ふれあい鑑賞公演の実施」

2023年度の鑑賞事業では子どもから高齢者までの多世代向けのふれあい鑑賞公演も開催し、誰もが気軽に文化芸術に触れ親しむ場づくりを目指します。「劇

場って子どもを連れては行きづらいな」と思われている子育て世代の皆さんにも安心してお子さんと一緒に来場いただける親子向け公演の開催も予定しています。また、バリアフリーに取り組む公演については、会場内の鑑賞サポートの充実を図り、今後はより多様な方に文化芸術を楽しめる機会作りに取り組んでいきます。

「多彩な舞台芸術公演へ向けて」

ホール再開後は、地方では鑑賞機会の少ない現代的表現の舞台、オーケストラ、古典芸能などの質の高い公演開催も予定しています。公演に加えて、公演ジャンルをより深くお楽しみいただくための事前の鑑賞講座や体験ワークショップなども実施していきたいと考えています。また、地元実演家とプロアーティストとの交流事業など、文化活動の裾野が広がる取り組みを目指します。

今後も皆さまに多種多様な鑑賞・体験機会をお届けしていきますので、是非ご期待ください。



しまね伝統芸能祭2021



グラントワカンタート2021



今福座/祝いの太鼓だんどこんどん2021

LIFE with グラントワ

イワミ・アート・ラボラトリー

グラントワと連携した新たな試み「イワミ・アート・ラボラトリー」にて、「あなたとわたし」をテーマに津和野町民が一流のアーティストと表現活動を行う実験的なワークショップを開催しています。

私たちは、何が正しくて何が間違っているのか、理想と現実、主観と客観など、対をなす考えのどちらかを当てはめ、場合によって変えたりし

て日々を過ごします。では、どこで線を引いているのか？自ら境界を設け、狭い価値観に囚われていないか？という問題提起をし、参加者に和太鼓集団・今福座と体と心をほぐし自分の声を聴く、精神科医の進行で相手の声を聴く、言葉の表現者・志人氏の導きで自然の声を聴く、という非日常体験を通じて刺激を受け、自分を見つめてもらうことができました。

今後は他者になりきり想像力を磨く、感性を研ぎ澄ます、といった体験を計画中で、この事業がどこまで進化するのか楽しみです！

〔一財）つわの学びみらい 白石邦広〕

PICK UP EVENT



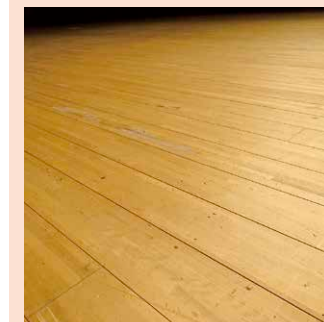
※写真はイメージです。

企画展「イッタラ展」関連プログラム
グラントワ・マルシェ2023
2023年5月3日(水・祝)
10:00～15:00
中庭広場(ほか)

恒例の「グラントワ・マルシェ」。今年は企画展「イッタラ展」に合わせ、「フィンランドの食・文化・エコ」をテーマに開催します。フィンランドの代表的な料理やスイーツ、北欧雑貨の販売をはじめ、フィンランドの伝統装飾「ヒンメリ」作りワークショップ、モルック体験、映画上映など、フィンランドの文化をご体感いただけるイベントが盛りだくさん！また、フィンランドは環境問題への取り組みが非常に活発な国です。マルシェでも様々なエコ活動に取り組めます。ぜひご家族・ご友人と楽しいひとときをお過ごしください。

※内容は変更する場合があります。最新の情報はグラントワホームページをご覧ください。

劇・場・を・探・る



【舞台床】

舞台床とは客席より一段上の床面を指しています。床はひのき材やナラ材などの集成材を使ってなめらかに仕上げられています。演目の内容によって、大道具など固定するために釘打ちする時もあります。機材を接続するコンセントボックスが床に埋め込んであり、凹凸がないように工夫されています。

今回は「建て込み」です。

チケット好評発売中

島根邦楽集団

第17回定期演奏会

2023年3月5日(日)

「グラントワ」スタジオリ

開場14時/開演14時30分

入場料 ※全席自由・税込

一般前売 1,000円(会員900円)

一般当日 1,500円(会員1,400円)

高校生以下 500円

※未成年の子供のご入場はご遠慮ください。

暖かくなる春の日に優雅な邦楽の調べをお楽しみください。
今年はお茶のふるまいをご準備して多くの方のご来場をお待ちしています。

MUSIC FES.2022

島根音

アマチュアミュージックフェスティバル in MASUDA 2023

2006年より毎年開催している、地元ミュージシャンによるライブイベント。今年もふれあいホールみとで開催決定!!

2023.3.12 (sun)

ふれあいホールみと (益田市美都町都茂1692)

開場 13:30 / 開演 14:00

入場料 一般 1,000円 中学・高校生 500円

※小学生以下無料

出演 明誠高校軽音楽部、NEVER SWAP、MOZU、Louise、ジブQキングス、HardCaramel、鳩時計、久美かおる

チケット好評発売中

いわみ芸術劇場ホール再開記念

20th 森山直太朗

アニバーサリーツアー

素晴らしい世界 (後篇)

2023年5月14日(日) いわみ芸術劇場大ホール

開場 16:30 / 開演 17:30

入場料 [全席指定・税込] 前売 7,700円 [リマキケ] ※3歳以下入場不可/4歳以上チケット必要

森山直太朗史上最大の全国100本ツアー

儂くも強い歌声と心を打つ美しい歌詞、そして圧倒的な表現力と歌唱力…森山直太朗の唯一無二の世界観を大ホールの響きとともに楽しみてください。

3月4日(土) チケット発売

2023年
5月より再開！
大・小ホール、
いわみ芸術劇場



井の裏側から耐震用部材を設置する工法を採用しました。ホールやホワイエの天井に見た目の変化はありませんが、工事完了後は、これまで以上に安心して安全な劇場に生まれ変わります。

5月から9月にかけては『劇場ホール再開記念事業』として、「森山直太郎 20th アニバーサリーツアー」、「広島交響楽団第30回 島根定期演奏会」、「絢香 LIVE TOUR 2023」、「松竹大歌舞伎 西コース」などを開催。以降も多数の魅力的な公演やイベントを行なう予定です。ホール再開後のいわみ芸術劇場に、どうぞ、ご期待ください。

お客様により安心・安全に劇場をご利用いただくため、2021年秋から始まり「いわみ芸術劇場」大・小ホールの耐震改修工事がまもなく完了します。1年半という長期間、ホールを使用することができませんでしたが、いよいよ5月から大・小ホールを使った公演・イベントが再開します。

耐震改修工事を行うにあたり、いわみ芸術劇場では、既存の天

オンラインで
チケット購入！
「シマチケ」での
取扱いが始まります。

島根県民会館で運用している、WEBからチケットの購入・予約ができるオンラインチケットシステム『シマチケ』で、グラントワ主催の公演チケットが購入できるようになりました。年会費・登録料もすべて無料となり、24時間いつでもチケットが購入



できます。お支払いに関しては、クレジットカード決済とセブンイレブン店頭での決済ができ、チケット引き取りは、セブンイレブンでの店頭発券となり、お客様の利便性が向上いたします。

ホール耐震改修工事終了後、最初のイベントにあたる、いわみ芸術劇場ホール再開記念「森山直太郎コンサート20th アニバーサリーツアー『素晴らしい世界』〈後編〉」から、WEBでのチケット先行販売を開始いたします。

ぜひ、この機会に『シマチケ』の会員登録をよろしくお願いたします。詳細に関しては、グラントワホームページをご覧ください。

Grand Toit's
RECOMMENDATION

グラントワのおすすめ



ホール再開記念
森山直太郎
20th アニバーサリー
ツアー開催！

ホール再開後のグラントワは、「さくら」「夏の終わり」など、人々の思い出とともにある名曲の数々を生み出してきた森山直太郎さんの「20th アニバーサリーツアー 素晴らしい世界」からスタート。

偉くも強い歌声と心を打つ美しい歌詞、そして圧倒的な表現力と歌唱力。森山直太郎さんの創り出す世界観は唯一無二と称され、デビュー以来幅広い年代に支持され続けています。アーティストとしての活動だけでなく、バラエティ番組やドラマで見せるユーモアあふれる人柄や、存在感のある演技も魅力的です。

これまで数々のアーティストから高い評価をいただいたグラントワ大ホールの響き。森山直太郎さんの歌声はどんなふうに響くのでしょうか。どうぞご期待ください。

森山直太郎
オフィシャルサイト
<https://naotaro.com/>

森山直太郎
MORIYAMA NAOTAROU

1976年生まれ、東京都出身。2001年にインディーズレーベルから直太郎名義でアルバム『直太郎』をリリースし、2002年10月にミニアルバム『乾いた唄は魚の餌にちょうどいいい』でメジャーデビューを果たす。その後 constants に楽曲制作とライブ活動を行う傍ら、他アーティストへの楽曲提供なども行う。2020年にはNHK連続テレビ小説『エール』での好演が評判となった。2022年3月にアルバム『素晴らしい世界』をリリース。10月にはメジャーデビュー20周年を迎えた。

美
術
館
に
よ
う
て
み
よ
う



池田輝方
《多賀朝湖流さる》
(部分)
1919(大正8)年
コレクション展
「ドラマのある絵」
4月7日(金)～5月15日(月)
会場:展示室A

コレクション展「ドラマのある絵」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. 「ドラマのある」というのは、どういうことですか？

何かの物語を題材にした絵や、背後にどんなドラマがあるのか気になる絵を集めます。特定の物語が設定されていない作品については、注目ポイントをお伝えして、見る方に想像していただきます。

Q2. おすすめの作品はどんなものですか？

池田輝方の《多賀朝湖流さる》が一押しです！江戸時代の絵師、多賀朝湖（英一蝶）が幕府の怒りにふれて三宅島に流された事件が主題ですが、描かれているのは流罪となった本人ではなく、船を見送る人々。縦1.9m、横幅が左右あわせて約8mの画面に、等身大に描かれた総勢19名の悲しみが展開する、芝居の一場面を抜き出したような大作です。

The 石見美術館
わたしのおすすめ
Collection

主任学芸員 廣田理紗

『レペルトワール・ドゥ・グー・モデルヌ』は、1928年から29年にかけてフランスで刊行された書籍で、全5巻からなり、それぞれに40枚の色鮮やかな版画が収められています。ロベール・マレ＝ステヴァン、ル・コルビュジエ、フランシス・ジュールダンといった、のちにフランスでモダンデザインを推進してゆくグループ、現代芸術家連盟(UAM)の作家たちが中心となり、居間や食堂など住宅を舞台にしたさまざまなプランを提案



フランシス・ジュールダン
「居間」『レペルトワール・ドゥ・グー・モデルヌ』vol.1
1928-29年 当館蔵

しました。本作は青を基調とした中に、レモンイエロー、オレンジ、緑を差し、色を装飾の要素として用いた秀作です。鮮やかな色彩を再現するのに適したポショワールで表現され、約100年前のアーティストの思いを色褪せることなく伝えてくれます。

登録無料！
オンラインで劇場のチケットが購入できる！
オンライン「シマチケ」
お近くのセブンイレブンでもチケット発券！
島根県民会館で運用しているオンラインチケットシステム「シマチケ」で、グラントワ主催の公演チケットが購入できるようになりました。年会費・登録料はすべて無料、24時間いつでもチケットを購入いただけます。
※石見美術館のチケットはご購入いただけません
登録方法
島根県民会館HPまたはグラントワHP内の「シマチケ」にアクセス > シマチケ 検索
グラントワで開催される公演は、2023年5月14日開催予定の「森山直太郎コンサート」WEB先行販売からご利用いただけます。
※有料会員(共通・友の会)の先行販売終了後からの販売となります。

石見美術館コレクション展

展示室A
コレクション展 ドラマのある絵
4月7日(金)～5月15日(月)
※「美術館にきてみよう」参照
コレクション展 象る絵
5月17日(水)～6月26日(月)
岸田劉生(静物) 1920年

展示室B
コレクション展 ファッションプレートにみる100年前のファッション
4月7日(金)～5月29日(月)
コレクション展 版画アラカルト
5月31日(水)～7月17日(月・祝)
有元利夫(1983年展覧会ポスター) 1983年

展示室C
コレクション展 レペルトワール・ドゥ・グー・モデルヌ
4月8日(土)～5月29日(月)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照
コレクション展 石見の現代作家たち
5月31日(水)～9月4日(月)
企画展「山本榮谷と津和野藩の絵師たち」(2023年7月8日より開幕)にあわせ、昭和から令和にかけての石見の作家たちの作品を紹介します。
野村康生(Noctis Labyrinthus(夜の迷宮)) 2017年

シ観に
レビュー
・実際に洋服を近くで見て、素材やスパンコールなどよく見れば見る程、丁寧に作られていて感動しました。世界で活躍された森さんはカッコイイ女性だと思いました。私も元気をもらえました、ありがとうございます。(出雲市・30代/特別展「追悼 森英恵」)
・医光寺に久しぶりに伺い、心なごも中での落語、楽しませていただきました！グラントワの工事が終わってもまちなかの公演を続けて欲しいと思いました！(益田市・50代/グラントワまちなか劇場 vol.3「新春特別公演 桂吉坊落語会【医光寺】」)
・グラントワ合唱団の皆さんの美しい歌声とピアノの音色に大感激！わたしの大好きなクリスマスソングの数々をグラントワの素晴らしい空間で聴くことができ、ご機嫌なクリスマスとなりました！(益田市・40代/いつでもどこでも音楽祭「グラントワ合唱団のクリスマス」)

Grand Toit & / リレーでコラム 7

田原維子 (いわみ芸術劇場総務広報課課長代理)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第7回は、総務広報課課長代理の田原維子さんです。

グラントワとは運命的な出逢いでした。あれはグラントワがまだ建設中だった頃。当時県外に住んでいた私は、帰省した際に偶然あるチラシを目にしました。開館に向け「グラントワ応援団」を募集するものでした。グラントワの存在も知らなかった私ですが、それを見た瞬間、「数年後ここで働いている気がする…」そんな不思議な予感がしたことを今でも鮮明に覚えています。それから数年後、予感は現実のものとなり、私は劇場文化事業課職員としてグラントワの開館を迎えました。

あれから17年、たくさんの方々に助けていただきながら、ずっとグラントワと一緒に歩かせてもらっています。劇場文化事業課時代には数えきれないほどの感動の場面に立ち会いました。担当事業の本番を舞台下手袖から見守りながら何度泣いたか分かりません。

現在は美術館の広報に携わっています。学芸員と二人三脚で思いを込めて創り上げる展覧会。ご来館くださったお客様に「来て良かった」と笑顔で言っただけのあの瞬間が最高に幸せです。

劇場文化事業も美術館広報も、創り上げていく過程には、泣いたり笑ったり、言葉では言い尽くせないほどのドラマがあります。それを乗り越えて最後の最後にお客様と出演者・スタッフが1つになる瞬間。あの感動が忘れられなくて、もう一度味わいたくて、私は17年ここにいますのだと信じています。



困難を乗り越え迎えた本番前、円陣を組む出演者

今回は志田尾浩士さん(総務広報課グループリーダー)の予定です。

報告します!

ミュージア vol.19
朗読会「朗読の夕べ
文学と美術のあわいに」開催!



当日の様子

新たなアートパフォーマンスを創造・発信する劇場と美術館の共同企画「ミュージア」。今回は津和野出身の文豪、森鷗外の没後100年を記念したコレクション展「森鷗外ゆかりの画家たち」の会場で、ドイツを舞台にした鷗外の小説「文づかひ」の朗読会を開催しました。

第1部では声優・佐々木望さんの朗読と鷗外研究者・大東文化大学教授の美留町義雄さんの解説で森鷗外作品の魅力に迫り、第2部では佐々木さんと当館の川西学芸員が展示中の鷗外ゆかりの美術家たちの作品や文章を紹介しました。終演後は作品を観覧し余韻を楽しむ来場者の姿が多く見られました。

参加者の感想

作品に囲まれた会場で朗読を聞けるなんて贅沢! (北海道・50代)
鷗外の作品や人柄など多くの事が知れて良かった。(出雲市・20代)

「益田系操り人形隠岐公演」を開催しました。



当日の様子

益田の伝統芸能「益田系操り人形」の公演を初めて隠岐島で開催し、「傾城阿波鳴門」や三味線・人形解説のほか、ロビーで人形を間近に見る体験をお届けしました。観客からは「糸の力と人の作用で素晴らしい演技ができることに感動した」といった声が聞かれ、益田系操り人形の魅力を隠岐の皆さんにたっぷりと楽しんで頂けました。

「ともとのガラクタ音楽会」
2会場で開催!



当日の様子

ガラクタに命を吹き込む演奏者・山口ともさんによるガラクタ音楽会を2日間実施しました。山口ともさんの軽快なトークとガラクタから出る不思議な音楽に、来場されたお客様からは笑い声と驚きの声で沢山聞こえてきました。来場者の皆さんが持参されたオリジナルペッカーも華やかで、全世代が楽しめるにぎやかな音楽会となりました。

グラントワ通への道

Q. オンラインチケット「シマチケ」が始まるそうですが、今までの会員(ホール友の会)はどうなりますか??

A. オンラインチケット「シマチケ」が始まっても、ホール友の会はこれまでどおり会員募集を行っています。ホール友の会では、「シマチケ」より先だって劇場の主催公演の先行販売の対象となります。また、毎月郵送にて美術館や劇場など「グラントワ」の最新情報をお届けしています。



ご来館の皆様へ

新型コロナウイルス感染症
感染拡大防止のため
ご協力をお願いいたします。

◎マスク等の着用

◎美術館・公演会場などへ
入場前の検温・手指消毒
※37.5度以上のお客様は、ご入場をご遠慮いただく場合があります。

発熱、咳等の症状のある方、体調不良の方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴のある方は、ご来館をお控えください。

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※2023年5月2日(火)は臨時開館



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎駅・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山崎駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860(代表)
FAX: 0856-31-1884(代表)
e-mail: zaidan@grandtoit.jp

www.grandtoit.jp

大ホール・小ホールは
2023年4月末(予定)まで休館中
石見美術館、多目的ギャラリー、スタジオ1・2、中庭広場は、通常どおりご利用いただけます。



読者
プレゼント

石見美術館 企画展
「イッタラ展
フィンランドガラスのきらめき」
招待券をペア10組様に
プレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、3月31日(金)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.73 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

オーナーシェフが腕によりをかけて創るこだわりの料理をお愉しみください。

ケーキやドリンクなどもご用意しています。

Restaurant Pony

■営業時間/11:00~22:00
※イベントにより変更あり夜は予約のみ
■店休日/不定休、年末年始
■TEL/0856-31-1873
www.restaurant-pony.com/

iittala

イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき

企画展「イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき」にちなんだ関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。

期間限定販売 4月22日(土)~6月19日(月)

展覧会限定アイテム
アアルト ベース「クリア1937」
95mm 120mm
13,200円 18,700円
※購入数量制限あり
©Iittala (山本倫子撮影)

パンダナ(全2種) 1,200円
マグネット(全10種) 770円
ノート(全3種) 1,100円
Tシャツ(全5種) 3,800円~4,800円
※価格すべて税込 ※一部のグッズ画像はイメージです

MUSEUM SHOP con amore

■営業時間/9:30~17:00
■店休日/毎週火曜日、年末年始
■TEL/0856-31-1874
www.grandtoit.jp/shop/

Follow Us!

最新の情報をいち早くお知らせ

「グラントワ」公式 Facebook @grandtoit.jp

「石見美術館」公式 Instagram @iwamiartmuseum

「グラントワ」公式 Twitter @grand_toit

「グラントワ」公式 YouTube @grandtoit

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や関連プログラム、「いわみ芸術劇場」で開催されるコンサート、演劇、イベント情報をはじめ、「グラントワ」に関する様々な最新情報を随時更新中。

いわみ芸術劇場 大ホール・小ホール 耐震改修工事のお知らせ

国の最新の基準を満たし、大規模な地震に対してお客様の安全を確保するため、いわみ芸術劇場大ホール・小ホールの客席および大ホールホワイエ天井の耐震改修工事を行います。ご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

工事期間 現在工事中~ 2023年4月末まで

※工事期間は予定です。工事状況が諸事情により変更になる場合があります。※工事の状況によっては、その他のエリアについても短期間の利用休止になる場合があります。※最新情報ほか、詳しくはグラントワホームページ等でお知らせします。

グラントワ Grand Toit 2023 イベント スケジュール 好評配布中!

2023年度に行われる石見美術館の展覧会やいわみ芸術劇場の取り組みなど情報を手にいれよう!
※グラントワ館内、全国の提携美術館・主要文化施設などで配布しています。
※新型コロナウイルス感染症の影響等で、掲載内容に変更が生じる場合があります。

グラントワのイベントスケジュールはHPからもご覧いただけます。
www.grandtoit.jp/schedule/